

注3

大学番号：私082

[平成26年度設置]

計画の区分：学部・学科の設置

注1

認可

和洋女子大学 人文学群 こども発達学類

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 和洋学園

平成28年5月1日現在

目次

人文学群

＜こども発達学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 和洋学園

(2) 大 学 名

和洋女子大学

(3) 大学の位置

〒272-8533

千葉県市川市国府台二丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カネダ コウゾウ) 金田 幸三 (平成18年4月)	(キンダ コウジ) 岸田 宏司 (平成27年4月)	健康上の理由による変更。但し、未選出のため現在代行。あらためて選出予定。(27)
		(ナガサカ ケンジロウ) 長坂 健二郎 (平成27年5月)	平成27年5月18日の理事会において選出(前理事長残任期間の任期)。任期満了に伴い平成28年4月1日の理事会において選出。(28)
学 長	(キンダ コウジ) 岸田 宏司 (平成24年4月)		
学 部 長	(リ メイゴ) 李 明伍 (平成26年4月)	(イノウ タケジ) 伊能 武次 (平成28年4月)	任期満了に伴い選出。(28)
学科長等	(スズキ ミユキ) 鈴木 みゆき (平成26年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学群 こども発達学類 学士(教育学)	4年	70人	5人 年次 3年次	290人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70人 (—) [若干]	0人	70人 (—) [若干]	0人	70人 (5) [若干]	人	人	人	1.10倍	
志願者数	182 (—) [0]	() []	269 (—) [0]	() []	237 (0) [0]	() []	() []	() []		
受験者数	177 (—) [0]	() []	258 (—) [0]	() []	236 (0) [0]	() []	() []	() []		
合格者数	115 (—) [0]	() []	126 (—) [0]	() []	184 (0) [0]	() []	() []	() []		
B 入学者数	74 (—) [0]	() []	68 (—) [0]	() []	91 (0) [0]	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.05		0.97		1.30					

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		[ー] (ー) 74	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) 68	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) 90	[ー] (ー) ー	[] 	[] 	
2 年次				[ー] (ー) 73	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) 66	[ー] (ー) ー	[] ()	[] ()	
3 年次						[ー] (ー) 73	[ー] (ー) ー	[] ()	[] ()	
4 年次								[] ()	[] ()	
計				[ー] (ー) 74	[ー] (ー) 141			[ー] (ー) 229	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	74 人	1 人	平成26年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成27年度	1 人	0 人	他の学類へ転籍(1人)	
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	68 人	2 人	平成27年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人) 就職(1人)	0.0 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	91 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	0.0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	233 人	4 人					0.0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人文学群 こども発達学類>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
共通総合科目	和洋アビリティーズ	キャリアデザインⅠ	1前	2		1					学類長担当科目。学類長退任に伴う担当科目の変更。なお、当該教員は平成26年度にAC教員審査にて承認済。(27)
		キャリアデザインⅡ	2前	2		1					学類長担当科目。学類長退任に伴う担当科目の変更。なお、当該教員は平成26年度にAC教員審査にて承認済。(27)
		社会実践と貢献	2前	2		1	+				兼 2 1 担当者の職位変更(28) 担当者の追加(27)
		パソコンの基礎	1前・後	2							兼 2 3 担当者の変更(26)
		PCプレゼンテーション	2後	2							兼 1
	人文学系	哲学のはじまりと展開	1前・後	2							兼 1 2 1 担当者の変更(27) 届出時の誤表記による訂正(26)
		倫理学への誘い	1前・後	2							兼 1 2 1 担当者の変更(27) 届出時の誤表記による訂正(26)
		日本の文学A	1前・後	2							兼 1
		日本の文学B	1前・後	2							兼 1 担当者の変更(28)
		外国の文学	1 前 後	2							兼 2 開講期の変更(27)
		ジェンダーと文学	1 前 後	2							兼 2 担当者の変更(28) 担当者及び開講期の変更(27)
		表現と創作	1後	2							兼 1 担当者の変更(28)
		こんにちの文化	1前	2							兼 1 担当者及び開講期の変更(27)
		歴史学	1後	2							兼 1
		日本の美術	1前	2							兼 1
		西洋の美術	1後	2							兼 1
		音楽の歴史	1後	2							兼 1 担当者の変更(28)
		音楽の楽しみ	1前	2							兼 1
		書道の楽しみ	1前	2							兼 2 担当者の変更(28)
		手書き文字の世界	1前・後	2							兼 1
		漢字・かな文字の変遷	1後	2							兼 1
		日本の文化	2 前 後	2							兼 1 開講期の変更(27)
	基礎教養	日本国憲法	1前・後	2							兼 2
		憲法と人権	1前・後	2							兼 2
		職業と法律	1前・後	2							兼 1
		家庭と法律	1前	2							兼 1
		政治と市民生活	1後	2							兼 1
		国際関係入門	1前	2							兼 1
		経済の仕組み	1前・後	2							兼 2
	社会科学系	企業と経営	3前	2							兼 1
		社会の仕組み	1前・後	2							兼 2
		20世紀の日本	1前	2							兼 1
		情報社会とメディア	1後	2							兼 1
		家族と社会	1前	2							兼 1
		家族と福祉	1後	2							兼 1
		宗教と社会	2 前 後	2							兼 1 開講期の変更(28)
		環境と資源	1後	2							兼 1
		日本の地方と地域性	1前	2							兼 1
		日本人の国民性	1後	2							兼 1
	生活科学系	衣服の科学	1前	2							兼 1
		服装の知識	1 前 後	2							兼 1 開講期の変更(27)
		ファッションの文化	1後	2							兼 1
		色彩の科学	1前	2							兼 1
		健康と食生活	1後	2							兼 1

共通総合科目	基礎教養	生活科学系	住まいとデザイン	1後		2					兼	1	
			気象の科学	1後		2					兼	1	
			環境の科学	1 前 後		2					兼	1	開講期の変更 (27)
			社会福祉の展望	1後		2					兼	1	
			加齢と高齢者の科学	1前		2					兼	1	開講期の変更 (27)
			こどもと育児A	1 前 後		2	1			1	兼	1	鈴木みゆき教授学類長就任に伴う担当者の変更。なお、今年度中にAC教員審査を受ける予定。※理由書添付 (26)
			こどもと育児B	1 前 後		2				1	兼	1	→平成26年7月審査済 (27)
			化学	1前・後		2					兼	2	
			数理と発想	1後		2					兼	1	
			食の科学	2後		2					兼	3	平成27年度から担当 (28)
		人間科学系	心理の科学A	1前		2					兼	1	
			心理の科学B	1 前 後		2					兼	1	開講期の変更 (27)
			社会とジェンダー	1後		2					兼	1	2 担当者の変更 (27) 申請時の誤表記による訂正 (26)
			人間の発達	1前・後		2	1	1	2		兼	1	職位の変更 (28)
			生命の科学	1前・後		2					兼	1	
			現代の教育A	1 前 後		2	1		4	1	兼	1	職位の変更 (28) 開講期の変更 (27)
			現代の教育B	1後		2	1				兼	1	
			文化人類学	1前・後		2					兼	1	
			遺跡に学ぶ	1後		2					兼	1	
			科学と倫理	1後		2					兼	1	
			女性と美容	2後		2					兼	1	担当者の変更 (28)
			健康の科学	1前・後		2				1	兼	2	3 担当者の変更 (28)
			スポーツ実習	1前・後		1					兼	2	4 担当者の変更 (28)
			フィットネス実習	1前・後		1				1	兼	1	担当者の変更 (26)
			運動運動学実習	1前・後		1					兼	1	
	海外研修	海外研修	海外語学研修	1前・後		2					兼	4	2 開講期の変更 (28) 担当者の追加及び職位変更 (27)
			海外文化研修	1		2					兼	1	2 担当者の変更 (28)
		外国語科目	英語a-I	1前		1					兼	3	担当者の変更 (27)
			英語a-II	1後		1					兼	3	担当者の変更 (27)
			英語b-I	1前		1	0	2			兼	2	0 2 3 担当者の変更 (28) 担当者の変更 (27)
			英語b-II	1後		1	0	2			兼	2	4 2 3 担当者の変更 (28) 担当者の変更 (27)
			フランス語a-I	1前		1					兼	2	
			フランス語a-II	1後		1					兼	2	
			フランス語b-I	1前		1					兼	2	
			フランス語b-II	1後		1					兼	2	
			ドイツ語a-I	1前		1					兼	1	
			ドイツ語a-II	1後		1					兼	1	
			ドイツ語b-I	1前		1					兼	1	
			ドイツ語b-II	1後		1					兼	1	
			スペイン語a-I	1前		1					兼	1	
			スペイン語a-II	1後		1					兼	1	
			スペイン語b-I	1前		1					兼	1	
			スペイン語b-II	1後		1					兼	1	
			中国語a-I	1前		1					兼	2	
			中国語a-II	1後		1					兼	2	
			中国語b-I	1前		1					兼	1	
			中国語b-II	1後		1					兼	1	
			韓国・朝鮮語a-I	1前		1					兼	1	
			韓国・朝鮮語a-II	1後		1					兼	1	
			韓国・朝鮮語b-I	1前		1					兼	1	
			韓国・朝鮮語b-II	1後		1					兼	1	
			TOEIC Preparation A-I	1前		1					兼	1	
			TOEIC Preparation A-II	1後		1					兼	1	
			TOEIC Preparation B-I	1前		1					兼	1	
			TOEIC Preparation B-II	1後		1					兼	1	
			日本語a-I	1前		1					兼	1	担当者の変更 (28)
			日本語a-II	1後		1					兼	1	担当者の変更 (28)

共通総合科目	外国語科目	日本語b-I	1前		1						兼	1	担当者の変更(28)					
		日本語b-II	1後		1						兼	1	担当者の変更(28)					
		映像と音楽で学ぶ英語I	2前		1						兼	1						
		映像と音楽で学ぶ英語II	2後		1						兼	1						
専門教育科目	演習科目	基礎ゼミ	1前	2			6	4	2	3			2	3			職位の変更(28)	
		こども発達学セミナー	1前	1				6	4	2	3			2	3			職位の変更(28)
		地域子育て支援演習	3前		2			1										
		こども発達学ゼミI	3後	2				6	4	2	3			2	3			職位の変更(28)
		こども発達学ゼミII	4前	2				4		3				3				
		保育・教育実践演習	4後		2			2										
	基礎科目	保育学入門	1後		2			1										
		保育原理	1前	2				1										
		保育者論	3前	2				1										
		教育原理	1前	2				1										
		保育の心理学I	1前	2						1								
		保育の心理学II	2後		2					1								
		家庭支援論	3前		2			1										
		児童家庭福祉	3前		2								兼	1				
		社会的養護	2後	2				1		4								職位の変更(28)
		社会福祉	3後		2								兼	1				
		子どもの保健I（精神保健含）	1後	2									兼	1	担当者の変更(28)			
		子どもの保健II	2前		2						1							
		子どもの保健III	2後	2									兼	1	担当者の変更(28)			
		子どもの食と栄養	3後		2								兼	1				
	基礎技能	こどもと音楽Ia	1前	2							1		兼	7	担当者の変更(28)			
		こどもと音楽Ib	1後	2							1		兼	7	担当者の変更(28)			
		こどもと音楽IIa	2前	2							1		兼	7	担当者の変更(28)			
		ピアノレッスン	2後	2									兼	7	担当者の変更(28)			
		こどもと図画工作	1後	2				1		4								職位の変更(28)
		こどもと造形	2前		2			1		4								職位の変更(28)
		こどもと運動	1後	2							1							
		保育表現技術I	3後		2			1		4		2						職位の変更(28)
		保育表現技術II	4前		2					1		2						
	基幹科目	保育課程論	2後		2			1										
		教育方法論	3後		2								兼	1				
		教育社会学	3後		2								兼	1				
		保育内容総論	2前		2			1										
		保育内容(健康)	2前		2			1				1						
		保育内容(人間関係)	2前		2			4		1								広報・入試センター長就任に伴う担当コマ調整による担当者の変更。なお、当該教員は平成26年度にAC教員審査にて承認済。(27)
		保育内容(環境)	3前		2			1		4								職位の変更(28)
		保育内容(言葉)	1後		2			1										
		保育内容(音楽表現)	2後		2							1						
		保育内容(造形表現)	2後		2			1		4								職位の変更(28)
		乳児保育	2後		2			1				1						担当者の追加。平成27年8月AC教員審査済(28)
		障害児保育	3前		2			1		4								職位の変更(28)
		社会的養護内容	3前		2			1		4			兼	1	職位の変更及び担当者の追加(28)			教職課程認定申請に伴う科目名の変更。なお、開講年度(H29)までにAC教員審査を受ける予定。(26)
		保育・教育相談の基礎相談援助	4前		2					1								平成27年8月審査済(28)
		こども発達の理解と相談	4前		2					1								
		こどもと文化	1前		2			1										
		こどもと自然	1前		2			1		4								職位の変更(28)
		こどもと地域社会	3前		2			1										
	実習	幼稚園実習Iの指導	2前		1					1		2						
		幼稚園実習I	2前		2			6	4	2	3		2	3				職位の変更(28)
		幼稚園実習IIの指導	3後		1					1		2						
		幼稚園実習II	4前		2			4		3		3						

専門 教育 科目	実 習	保育所実習Ⅰの指導	2後		1		1	4		2		職位の変更(28)	
		保育所実習Ⅰ	3前		2		6	4	2	3	2	3	職位の変更(28)
		施設実習Ⅰの指導	3前		1		1	1	2				職位の変更(28)
		施設実習Ⅰ	3後		2		6	4	1	3	3	2	職位の変更及び担当者の追加。平成 27年8月AC教員審査済。(28)
		保育所実習Ⅱの指導	4前		1				1		2		
		保育所実習Ⅱ	4前		2		4		3		3		
		施設実習Ⅱの指導	4前		1				1				
		施設実習Ⅱ	4前		2				3		2		
	卒業 研究	卒業研究	4通	4			4	3		2			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
20	145	0	165	20	145	0	165	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	日本人の国民性	2	1	一般	選択	科目担当の非常勤講師から辞退の申し出があり、後任人事について、2月5日まで非常勤講師の公募を行った。8名の応募者があり、書類及び業績を下に審査を行った。結果、当科目を担当するのに適当な応募者が見当たらないという結論に至った。平成28年度開講できるように、今年度中に人事を進める。
2	海外文化研修	2	1・2・3・4	一般	選択	引率予定の専任教員1名の退職と、開講にあたっては20名程度の履修者数を条件としていたが、前年度の途中で履修者数が見込めなくなったため。
3	日本人の国民性	2	1	一般	選択	前年度に引き続き、非常勤講師公募を行ったが、科目を担当できる適当な応募者がなかった。学長他本学教員からの伝で手当てを進めることになった。今年度後期または、来年度に開講するように至急人事を進める。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目は、選択科目であり同分野系列の他の開講科目で履修要件は満たせるため、学生の履修への影響はほとんどないと考えられる。未開講科目について、学生には、シラバスや履修登録ガイダンス時に周知を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.01}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	和洋国府台 女子高等学校 収容定員1,230人 (面積基準18,193㎡) 合計数誤表示のため修正 (26) 体育館立替により校舎 敷地修正及び高校の定 員数の変更に伴い再計 算したため(28)		
	校 舎 敷 地	8,482 ㎡	34,404 33,939 ㎡	4,711 5,176 ㎡		47,597 ㎡			
	運動場用地	82,004 ㎡	11,509 11,425 ㎡	5,153 5,254 ㎡		98,683 ㎡			
	小 計	90,486 ㎡	45,913 45,364 ㎡	9,864 10,430 ㎡		146,280 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡		0 ㎡			
	合 計	90,486 ㎡	45,913 45,364 55,794 ㎡	9,864 10,430 ㎡		146,280 ㎡			
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	和洋国府台 女子高等学校 収容定員1,230人 (面積基準18,193㎡) 登記簿再取得により校 舎面積修正(5 ㎡増加) (26)		
		50,544 ㎡ 50,539 ㎡	2,960 ㎡	1,361 ㎡		54,865 ㎡ 54,860 ㎡			
		(50,544 ㎡ 50,539 ㎡)	(2,960 ㎡)	(1,361 ㎡)		(54,865 ㎡ 54,860 ㎡)			
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		36 38 室	23 25 室	31 室	5 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		人文学群 こども発達学類			10 室				
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書関係の訂正は、申請 時予測した数値から、 H26.5.1現在を基に再計算 したため。(26) 図書関係の訂正は、申請 時予測した数値から、 H27.5.1現在を基に再計算 したため。(27) 図書関係の訂正は、申請 時予測した数値から、 H28.5.1現在を基に再計算 したため。(28)
	こども発達学類	11,045 497 10,958 506 11,348 545 12,460 [550]	63 5 65 68 [6]		2 [0]	379 383 291 302	5,827	0	
		10,133 483 9,818 485 9,528 525 (10,403 [534])	62 6 64 5 (65 [6])		(1 [0])	359 341 235 (260)	(5,827)	(0)	
	計	11,045 497 10,958 506 11,348 545 12,460 [550] 10,133 483 9,818 485 9,528 525 (10,403 [534])	63 5 65 68 [6] 62 6 64 5 (65 [6])		2 [0] (1 [0])	379 383 291 302 359 341 235 (260)	5,827 (5,827)	0 (0)	
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		3,223 ㎡		267		273,925			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		6,005 3,574 ㎡		テニスコート2面					
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体
		教員1人当たり研究費等	468 482千円	280 475 468 482千円	図書購入費	2,241 2,570千円	2,335 2,570千円	2,670千円	図書購入費には電子ジャーナル、データベース購入費を含む 経費の見積りの訂正は、申請時 予測した数値からH25年度実績に よるため(26)
		共 同 研 究 費 等	181 243千円	1,131 196 181 243千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	研究費関係の訂正は、申請時 予測した数値からH27.5.1現在を 基に再計算したため(27) 研究費関係の訂正は、平成28年 度から研究費等の申請時期・方 法等が変更し、算出方法を改め たため(28)
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	設置対象の設備計画が 平成24年度で完了のため、 現時点では設備購 入費は0千円となる。	
		1,243 1,323千円	980 960千円	980 960千円	980 960千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入他					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		和洋女子大学								備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		平成26年より学生募集停止 平成26年より学生募集停止	
人文学群	年	人	年次 人	人		倍					
国際学類	4	120	3年次 6	366	学士 (文学)	0.72	平成26年度	千葉県市川市国府台 二丁目3番1号			
					学士 (教養)						
日本文学文化学類	4	110	3年次 6	452	学士 (文学)	0.96	平成20年度	同上			
心理学類	4	70	3年次 5	215	学士 (心理学)	0.78	平成26年度	同上			
こども発達学類	4	70	3年次 5	215	学士 (教育学)	1.10	平成26年度	同上			
英語・英文学類	4	—	3年次 4	—	学士 (文学)	—	平成25年度	同上			
心理・社会学類	4	—	3年次 6	—	学士 (文学)	—	平成20年度	同上			
家政学群											
服飾造形学類	4	80	3年次 5	340	学士 (家政学)	0.86	平成20年度	千葉県市川市国府台 二丁目3番1号			
健康栄養学類	4	120	3年次 5	490	学士 (家政学)	1.11	平成20年度	同上			
家政福祉学類	4	80	3年次 5	340	学士 (家政学)	1.11	平成20年度	同上			
大 学 の 名 称		和洋女子大学大学院									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地			
人文科学研究科	年	人	年次 人	人		倍					
英語文学専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.10	平成14年度	千葉県市川市国府台 二丁目3番1号			
日本文学専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.40	平成14年度	同上			
総合生活研究科											
総合生活専攻											
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (家政学)	0.62	平成14年度	千葉県市川市国府台 二丁目3番1号			
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (学術)	0.22	平成15年度	同上			
					博士 (家政学)						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（A C対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人文学群 こども発達学類>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	太田 光洋	平成26年4月	基礎ゼミ ※ こども発達学セミナー 地域子育て支援演習 こども発達学ゼミⅠ こども発達学ゼミⅡ 保育・教育実践演習 ※ 保育原理 家庭支援論 保育内容総論						
				保育内容(人間関係)	専	准教授	大神 優子	平成26年4月	保育内容(人間関係)	広報・入試センター長就任に伴う 担当コマ調整による担当科目の変 更。なお、当該教員は平成26年7月 AC教員審査済。(27)
				保育内容(言葉) 幼稚園実習Ⅰ 幼稚園実習Ⅱ 保育所実習Ⅰ 施設実習Ⅰ 保育所実習Ⅱ 卒業研究						
				キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	専	教授	鈴木 みゆき	平成26年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	学類長担当科目。学類長交代に伴 う担当科目の変更。なお、当該教 員は平成26年7月AC教員審査済。 (27)
専	教授	鈴木 みゆき	平成26年4月	基礎ゼミ ※ こども発達学セミナー こども発達学ゼミⅠ こども発達学ゼミⅡ 保育学入門 保育者論 保育内容(健康) ※ 乳児保育 こどもと文化 幼稚園実習Ⅰ 幼稚園実習Ⅱ 保育所実習Ⅰ 施設実習Ⅰ 保育所実習Ⅱ 卒業研究						
				こどもと育児A	専	助教	伊瀬 玲奈	平成26年4月	こどもと育児A	学類長就任に伴う担当コマ調整に よる担当科目の変更。なお、当該 教員は今年度中にAC教員審査を受 ける予定。※理由書添付(26) →平成26年7月教員審査済(27)
									キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	学類長担当科目。学類長就任に伴 う担当科目の追加。なお、当該教 員は平成26年7月AC教員審査済。 (27)

専	教授	関山 邦宏	平成26年4月	基礎ゼミ ※ こども発達学セミナー こども発達学ゼミⅠ こども発達学ゼミⅡ 教育原理 こどもと地域社会 幼稚園実習Ⅰ 幼稚園実習Ⅱ 保育所実習Ⅰ 施設実習Ⅰ 保育所実習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	菱田 隆昭	平成26年4月	基礎ゼミ ※ こども発達学セミナー こども発達学ゼミⅠ こども発達学ゼミⅡ 保育・教育実践演習 ※ 保育課程論 幼稚園実習Ⅰ 幼稚園実習Ⅱ 保育所実習Ⅰ 施設実習Ⅰ 保育所実習Ⅱ 卒業研究 現代の教育B						
専	准教授	大神 優子	平成26年4月	基礎ゼミ ※ こども発達学セミナー こども発達学ゼミⅠ こども発達学ゼミⅡ 保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ こども発達の理解と相談 幼稚園実習Ⅰの指導 ※ 幼稚園実習Ⅰ 幼稚園実習Ⅱの指導 ※ 幼稚園実習Ⅱ 保育所実習Ⅰ 施設実習Ⅰの指導 ※ 施設実習Ⅰ 保育所実習Ⅱ 施設実習Ⅱ 卒業研究 人間の発達						
専	准教授	島田 由紀子	平成26年4月	基礎ゼミ ※ こども発達学セミナー こども発達学ゼミⅠ こども発達学ゼミⅡ こどもと図画工作 こどもと造形 保育表現技術Ⅰ ※ 保育表現技術Ⅱ ※ 保育内容（造形表現） 幼稚園実習Ⅰ 幼稚園実習Ⅱ 保育所実習Ⅰの指導 ※ 保育所実習Ⅰ 施設実習Ⅰ 保育所実習Ⅱの指導 ※ 保育所実習Ⅱ 施設実習Ⅱ 卒業研究 現代の教育A		教授				平成28年4月昇任に伴う職位の変更 (28)

専	准教授	前田 泰弘	平成26年4月	基礎ゼミ ※ こども発達学セミナー こども発達学ゼミⅠ こども発達学ゼミⅡ 社会的養護 保育内容(環境) 障害児保育 社会的養護内容 相談援助 こどもと自然 幼稚園実習Ⅰ 幼稚園実習Ⅱ 保育所実習Ⅰ 施設実習Ⅰの指導 ※ 施設実習Ⅰ 保育所実習Ⅱ 施設実習Ⅱの指導 施設実習Ⅱ 卒業研究 社会実践と貢献 人間の発達		教授			保育・教育相談の基礎	平成28年4月昇任に伴う職位の変更(28) 教職課程認定申請に伴う科目名の変更。なお、開講年度(H29)までにAC教員審査を受ける予定。(26) 平成27年8月審査済(28)
専	助教	伊瀬 玲奈	平成26年4月	基礎ゼミ ※ こども発達学セミナー こども発達学ゼミⅠ こども発達学ゼミⅡ 幼稚園実習Ⅰの指導 ※ 幼稚園実習Ⅰ 幼稚園実習Ⅱの指導 ※ 幼稚園実習Ⅱ 保育所実習Ⅰの指導 ※ 保育所実習Ⅰ 保育所実習Ⅱの指導 ※ 保育所実習Ⅱ こどもと育児B					こどもと育児A 乳児保育 施設実習Ⅰ	鈴木みゆき教授の学類長就任に伴う担当科目の追加。なお、今年度中にAC教員審査を受ける予定。※理由書添付(26) →平成26年7月AC教員審査済(27) 鈴木みゆき教授の役職負担軽減に伴う担当科目の追加。平成27年8月AC教員審査済(28) 担当科目の追加。平成27年8月AC教員審査済(28)
専	助教	駒 久美子	平成26年4月	基礎ゼミ ※ こども発達学セミナー こども発達学ゼミⅠ こども発達学ゼミⅡ こどもと音楽1a こどもと音楽1b こどもと音楽11a 保育表現技術Ⅰ ※ 保育表現技術Ⅱ ※ 保育内容(音楽表現) 幼稚園実習Ⅰ 幼稚園実習Ⅱの指導 ※ 幼稚園実習Ⅱ 保育所実習Ⅰ 施設実習Ⅰ 保育所実習Ⅱ 施設実習Ⅱ 卒業研究 現代の教育A		准教授				平成28年4月昇任に伴う職位の変更(28)

専	助教	塩野谷 祐子	平成26年4月	基礎ゼミ ※ こども発達学セミナー こども発達学ゼミⅠ こども発達学ゼミⅡ 子どもの保健Ⅰ こどもと運動 保育表現技術Ⅰ ※ 保育表現技術Ⅱ ※ 保育内容(健康) ※ 幼稚園実習Ⅰの指導 ※ 幼稚園実習Ⅰ 幼稚園実習Ⅱ 保育所実習Ⅰの指導 ※ 保育所実習Ⅰ 施設実習Ⅰ 保育所実習Ⅱの指導 ※ 保育所実習Ⅱ 施設実習Ⅱ 卒業研究 健康の科学 フィットネス実習						
兼担	教授	井上 清徳	平成26年4月	海外文化研修						
兼担	教授	岡本 文子	平成26年4月	日本の文学B 日本の文化	兼担	助教	木村 尚志	平成26年4月	日本の文学B	担当者の変更(26)
兼担	教授	豊谷 要	平成26年4月	パソコンの基礎 色彩の科学 化学 数理と発想	兼担	准教授	山本 高美	平成26年4月	パソコンの基礎	担当者の変更(26)
兼担	教授	金子 健彦	平成26年4月	女性と美容	兼任	講師	長沼 雅子	平成28年4月	女性と美容	副学長就任に伴う担当コマ調整による担当者の変更(28)
兼担	教授	木谷 喜美枝	平成26年4月	日本の文学B	兼担	助教	梅山 聡	平成27年4月	日本の文学B	平成27年3月木谷喜美枝教授定年退職に伴う担当者の変更(27)
兼担	教授	木下 裕昭	平成26年4月	英語b-Ⅰ 英語b-Ⅱ						
兼担	教授	駒見 和夫	平成26年4月	遺跡に学ぶ						
兼担	教授	佐久間 みかよ	平成26年4月	海外語学研修					外国の文学 ジェンダーと文学	担当科目の追加(27)
					兼担	助教	星野 文子	平成28年4月	外国の文学 ジェンダーと文学	担当者の変更(28)
兼担	教授	櫻井 洋一	平成26年4月	科学と倫理						
					兼担	教授	佐藤 宏子	平成27年4月	社会とジェンダー 企業と経営	平成27年4月就任に伴い、担当科目調整による変更(27)
兼担	教授	嶋根 歌子	平成26年4月	衣服の科学						
兼担	教授	庄司 妃佐	平成26年4月	加齢と高齢者の科学 社会とジェンダー					社会とジェンダー 社会実践と貢献	担当科目の削除。平成27年度定年退職者の後任措置のための配置だが、別途後任配置がされたため支障はない(28) 平成27年度から担当(28)
兼担	教授	高梨 一彦	平成26年4月	心理の科学A	兼担	准教授	寺島 瞳	平成26年4月	心理の科学A	担当者の変更(26)
兼担	教授	谷 秀雄	平成26年4月	哲学のはじまりと展開 倫理学への誘い						
兼担	教授	鳥羽田 重直	平成26年4月	海外文化研修			後任未定			平成28年3月定年。引率教員の後任未定及び開講条件に満たないため休講(28)
兼担	教授	中島 明子	平成26年4月	住まいとデザイン						
兼担	教授	中村 威久水	平成26年4月	日本の美術 西洋の美術						

					兼担	教授	服部 久美子	平成26年4月	英語b- I	担当者の変更 (26)
兼担	教授	藤澤 由美子	平成26年4月	食の科学	兼担	准教授	多賀 昌樹	平成26年4月	食の科学	担当者の変更 (27)
					兼任	准教授 教授	中島 肇	平成26年4月	食の科学	担当者の変更 (27) 履行状況報告時の誤表記による修正 (28)
					兼担	助教 准教授	大石 恭子	平成26年4月	食の科学	担当者の変更 (27) 平成28年4月昇任に伴う職位の変更 (28)
兼担	教授	古畑 公	平成26年4月	健康と食生活						
兼担	教授	三浦 清進	平成26年4月	英語b- II	兼担	教授	佐久間みかよ	平成28年4月	英語b- II	担当者の変更 (28)
					兼担	教授	佐藤 義夫	平成27年4月	英語b- II	時間割編成に伴う担当コマ調整による担当者の変更 (27)
					兼任	講師	妹尾 新太郎	平成27年4月	英語b- II	時間割編成に伴う担当コマ調整による担当者の変更 (27)
					兼担	准教授 教授	河内山 有佐	平成26年4月	英語b- II	担当者の変更 (26) 平成27年4月昇任に伴う職位の変更 (27)
兼担	教授	三浦 俊彦	平成26年4月	哲学のはじまりと展開 倫理学への誘い						平成27年3月退職。なお、平成28年度定年退職予定者の後任措置による担当予定科目のため支障はない (27)
兼担	教授	湊 久美子	平成26年4月	健康の科学 運動学実習						
兼担	教授	三善 勝代	平成26年4月	社会とジェンダー	兼担	教授	佐藤 宏子	平成27年4月	社会とジェンダー	平成27年3月三善勝代教授定年退職に伴う担当者の変更 (27)
兼担	教授	山下 景秋	平成26年4月	経済の仕組み						
兼担	教授	横坂 健治	平成26年4月	日本国憲法 憲法と人権						
兼担	教授	李 明伍	平成26年4月	社会の仕組み 家族と社会						
兼担	准教授	岡川 友久	平成26年4月	フランス語a- I フランス語a- II						
兼担	准教授	岡本 秀明	平成26年4月	企業と経営	兼担	教授	佐藤 宏子	平成27年4月	企業と経営	平成27年4月就任に伴い、担当科目調整による変更 (27)
兼担	准教授	小沢 哲史	平成26年4月	人間の発達						
兼担	准教授	金丸 裕志	平成26年4月	政治と市民生活 20世紀の日本		教授				平成27年4月昇任に伴う職位の変更 (27)
兼担	准教授	黒田 誠	平成26年4月	こんにちの文化						
兼担	准教授	河内山 有佐	平成26年4月	海外語学研修		教授				平成27年4月昇任に伴う職位の変更 (27)
兼担	准教授	代谷 陽子	平成26年4月	化学 生命の科学		教授				平成28年4月昇任に伴う職位の変更 (28)
兼担	准教授	秦泉寺 友紀	平成26年4月	社会の仕組み						
兼担	准教授	杉浦 功一	平成26年4月	国際関係入門						
					兼担	准教授	多賀 昌樹	平成26年4月	食の科学	担当者の変更 (27)
					兼担	准教授 教授	中島 肇	平成26年4月	食の科学	担当者の変更 (27) 履行状況報告時の誤表記による修正 (28)
兼担	准教授	高橋 佳子	平成26年4月	子どもの食と栄養						
					兼担	准教授	寺島 瞳	平成26年4月	心理の科学A	担当者の変更 (26)
兼担	准教授	藤丸 麻紀	平成26年4月	経済の仕組み						
兼担	准教授	向井 加寿子	平成26年4月	ファッションの文化	兼担	助教	織田 奈緒子	平成26年4月	ファッションの文化	担当者の変更 (26)
兼担	准教授	山本 高美	平成26年4月	パソコンの基礎 服装の知識						
兼担	助教	池田 幸恭	平成26年4月	心理の科学B						
					兼担	助教	梅山 聡	平成27年4月	日本の文学B	平成27年3月木谷喜美枝教授定年退職に伴う担当者の変更 (27)

					兼任	助教 准教授	大石 恭子	平成26年4月	食の科学	担当者の変更(27) 平成28年4月昇任に伴う職位の変更(28)
					兼任	助教	織田 奈緒子	平成26年4月	ファッションの文化	担当者の変更(26)
					兼任	助教	木村 尚志	平成26年4月	日本の文学A 日本の文学B	担当者の変更(26)
兼任	助教	佐藤 淳一	平成26年4月	日本の文学A 表現と創作	兼任	助教	木村 尚志	平成26年4月	日本の文学A	担当者の変更(26)
						准教授				平成28年4月昇任に伴う職位の変更(28)
兼任	助教	佐藤 まゆみ	平成26年4月	社会福祉の展望		准教授			社会実践と貢献	平成27年4月昇任に伴う職位の変更及び担当科目の追加(28)
兼任	助教	難波 秀行	平成26年4月	健康の科学 スポーツ実習					健康の科学 スポーツ実習	平成28年3月退職。複数教員担当のため支障なし(28)
兼任	助教	野津 友里子	平成26年4月	外国の文学 ジェンダーと文学 英語b-I	兼任	教授	佐久間みかよ	平成26年4月	外国の文学 ジェンダーと文学	平成27年3月早川友里子助教退職に伴う担当者の変更(27)
							早川 友里子			改姓による氏名変更(26)
					兼任	教授	服部 久美子	平成26年4月	英語b-I	担当者の変更(26)
					兼任	准教授	古屋 耕平	平成28年4月	英語b-I	担当者の変更(28)
兼任	助教	古屋 耕平	平成26年4月	映像と音楽で学ぶ英語Ⅰ 映像と音楽で学ぶ英語Ⅱ		准教授			英語b-I	平成28年4月昇任に伴う職位の変更(28) 担当者の変更(28)
兼任	講師	Helene Alt	平成26年4月	英語a-I 英語a-II						
					兼任	講師	石川 圭一	平成28年4月	書道の楽しみ	平成28年3月歳森芳樹兼任講師退職に伴う担当者の変更(28)
兼任	講師	石野 寛	平成26年9月	漢字・かな文字の変遷						
兼任	講師	井上 敏昭	平成26年4月	文化人類学						
兼任	講師	于 紅	平成26年9月	日本人の国民性	兼任	講師	後任未定	平成26年9月	日本人の国民性	于紅兼任講師担当辞退に伴う担当者の変更。なお、開講までに担当者決定の予定。(26)
							後任未定			平成26年9月から後任の非常勤講師が担当し開講したが、平成27年3月辞任。平成27年度は休講し、平成28年度開講予定。(27)
							後任未定			引き続き担当者の人選を進め、平成28年度後期又は29年度開講予定(28)
兼任	講師	上野 彩子	平成26年4月	こどもと音楽Ia こどもと音楽Ib こどもと音楽IIa ピアノレッスン						
兼任	講師	Francois Hermelin	平成26年4月	フランス語b-I フランス語b-II	兼任	講師	Christophe Lavignasse	平成26年4月	フランス語b-I フランス語b-II	平成26年3月Francois Hermelin兼任講師辞任に伴う担当者の変更(26)
兼任	講師	王 慧琴	平成26年4月	中国語a-I 中国語a-II						
兼任	講師	大田 貴昭	平成26年4月	日本国憲法						
					兼任	講師	小田 もゆる	平成27年4月	と音楽IIa ピアノレッスン こどもと音楽Ia こどもと音楽Ib	担当者の変更(27) 平成28年3月若宮由美兼任講師辞任に伴う担当科目の追加(28)
					兼任	講師	甲斐 万里子	平成28年4月	こどもと音楽Ia こどもと音楽Ib こどもと音楽IIa 音楽の歴史	平成28年3月若宮由美兼任講師辞任に伴う担当者の変更(28)
					兼任	講師	加賀 孝幸	平成28年4月	社会的養護内容	現科目担当者の負担軽減の配慮により担当者(コマ)を追加(28)
兼任	講師	柿市 里子	平成26年4月	中国語a-I 中国語a-II						
					兼任	講師	加藤 祐司	平成26年4月	書道の楽しみ	小池達也兼任講師死亡退職に伴う担当者の変更(26)
					兼任	講師	鹿倉 壮史	平成28年4月	書道の楽しみ	平成28年3月加藤祐司兼任講師定年退職に伴う担当者の変更(28)
兼任	講師	川嶋 充	平成26年4月	手書き文字の世界						

兼任	講師	神崎 百世	平成26年4月	TOEIC Preparation A- I TOEIC Preparation A- II TOEIC Preparation B- I TOEIC Preparation B- II						
兼任	講師	木村 民子	平成26年9月	家族と福祉						
兼任	講師	木村 祐子	平成28年9月	教育社会学	兼任	講師	渡部 晃正	平成28年9月	教育社会学	木村祐子兼任講師就任辞退に伴う 担当者の変更 (28)
兼任	講師	靳 炎	平成26年4月	中国語b- I 中国語b- II						
兼任	講師	金 寿蓮	平成28年4月	児童家庭福祉 社会福祉						
兼任	講師	金 範洙	平成26年4月	韓国・朝鮮語b- I 韓国・朝鮮語b- II						
兼任	講師	日下部 貢一	平成26年4月	パソコンの基礎 PCプレゼンテーション						
兼任	講師	熊倉 庸介	平成26年4月	日本語a- I 日本語a- II 日本語b- I 日本語b- II	兼任	講師	倉八 順子	平成28年4月	日本語a- I 日本語a- II 日本語b- I 日本語b- II	熊倉庸介兼任講師死亡退職に伴う 担当者の変更 (28)
					兼任	講師	倉八 順子	平成28年4月	日本語a- I 日本語a- II 日本語b- I 日本語b- II	熊倉庸介兼任講師死亡退職に伴う 担当者の変更 (28)
兼任	講師	栗山 武夫	平成26年4月	環境の科学	兼任	講師	後任未定			平成27年3月栗山武夫兼任講師辞任 に伴う担当者の変更。なお本年度 後期までに担当者決定の予定。 (27)
					兼任	講師	後任未定			平成27年度は担当者未定のため休 講。担当者決定の上開講の予定 (28)
兼任	講師	小池 達也	平成26年4月	書道の楽しみ	兼任	講師	加藤 祐司	平成26年4月	書道の楽しみ	小池達也兼任講師死亡退職に伴う 担当者の変更 (26)
					兼任	講師	鹿倉 壮史	平成28年4月	書道の楽しみ	平成28年3月加藤祐司兼任講師定年 退職に伴う担当者の変更 (28)
兼任	講師	合原 理映	平成26年4月	憲法と人権						
兼任	講師	佐々木 宗夫	平成26年4月	ドイツ語a- I ドイツ語a- II						
					兼任	講師	眞田 康弘	平成26年9月	環境と資源	平成26年9月から担当 (27)
兼任	講師	鈴木 美枝子	平成26年9月	子どもの保健I (精神保健含) 子どもの保健III	兼任	講師	股村 美里	平成27年9月	子どもの保健I (精神保健含) 子どもの保健III	平成27年3月鈴木美枝子兼任講師辞 任に伴う担当者の変更 (28)
兼任	講師	須藤 英子	平成26年4月	こどもと音楽1a こどもと音楽1b こどもと音楽IIa ピアノレッスン						
兼任	講師	Peter Smith	平成26年4月	英語a- I 英語a- II	兼任	講師	Richard Leroux	平成27年4月	英語a- I 英語a- II	時間割編成に伴う担当コマ調整に よる担当者の変更 (27)
					兼任	講師	Christopher Madden	平成26年4月	英語a- I 英語a- II	担当者の変更 (26)
兼任	講師	高崎 恵	平成27年4月	宗教と社会						
兼任	講師	田崎 直美	平成26年4月	こどもと音楽1a こどもと音楽1b こどもと音楽IIa ピアノレッスン 音楽の楽しみ	兼任	講師	小田 もゆる	平成27年4月	こどもと音楽IIa ピアノレッスン	担当者の変更 (27)
									ピアノレッスン	平成28年3月若宮由美兼任講師辞任 に伴う担当科目の追加 (28)
兼任	講師	田戸 カンナ	平成26年4月	フランス語a- I フランス語a- II						
兼任	講師	棚橋 ひとみ	平成26年9月	パソコンの基礎						
兼任	講師	田村 律行	平成26年9月	情報社会とメディア						

兼任	講師	土屋 有里	平成26年4月	こどもと音楽1a こどもと音楽1b こどもと音楽11a ピアノレッスン						
兼任	講師	蔵森 芳樹	平成26年4月	書道の楽しみ	兼任	講師	石川 圭一	平成28年4月	書道の楽しみ	平成28年3月蔵森芳樹兼任講師辞任に伴う担当者の変更(28)
					兼任	講師	長沼 雅子	平成28年9月	女性と美容	金子健彦教授副学長就任に伴う担当コマ調整による担当者の変更(28)
兼任	講師	仲道 慎治	平成26年4月	スペイン語a-Ⅰ スペイン語a-Ⅱ						
兼任	講師	中村 綾乃	平成26年9月	歴史学	兼任	講師	後任未定	平成26年9月	歴史学	中村綾乃兼任講師担当辞退に伴う担当者の変更。なお、開講までに担当者決定の予定。(26)
					兼任	講師	早川 理穂	平成27年9月	歴史学	平成26年9月から担当(27)
兼任	講師	奈須 亮子	平成28年9月	教育方法論						
兼任	講師	新村 典子	平成26年9月	気象の科学						
兼任	講師	西 律子	平成26年4月	日本の地方と地域性						
兼任	講師	仁平 明子	平成26年4月	こどもと音楽1a こどもと音楽1b こどもと音楽11a ピアノレッスン						
					兼任	講師	服部 英恵	平成26年4月	スポーツ実習	担当者の変更(26)
兼任	講師	Larry D. Hughes	平成26年4月	英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ						
兼任	講師	Fernandez Heriberto, Maria Yolanda	平成26年4月	スペイン語b-Ⅰ スペイン語b-Ⅱ						
					兼任	講師	股村 美里	平成27年9月	子どもの保健Ⅰ(精神保健含) 子どもの保健Ⅱ	平成27年3月鈴木美枝子兼任講師辞任に伴う担当者の変更(28)
兼任	講師	松井 美知子	平成26年4月	職業と法律 家庭と法律						
					兼任	講師	Christopher Madden	平成26年4月	英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ	担当者の変更(26)
兼任	講師	眞鍋 久美子	平成26年4月	こどもと音楽1a こどもと音楽1b こどもと音楽11a ピアノレッスン						
兼任	講師	山崎 玲美奈	平成26年4月	韓国・朝鮮語a-Ⅰ 韓国・朝鮮語a-Ⅱ						
兼任	講師	吉野 馨子	平成26年9月	環境と資源	兼任	講師	後任未定	平成26年9月	環境と資源	平成26年3月吉野馨子兼任講師辞任に伴う担当者の変更。なお、開講までに担当者決定の予定。(26)
					兼任	講師	眞田 康弘	平成27年9月	環境と資源	平成26年9月から担当(27)
					兼任	講師	Christophe Lavignasse	平成26年4月	フランス語b-Ⅰ フランス語b-Ⅱ	平成26年3月Francois Hermellin兼任講師辞任に伴う担当者の変更(26)
					兼任	講師	Richard Leroux	平成27年4月	英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ	時間割編成に伴う担当コマ調整による担当者の変更(27)
兼任	講師	Riesner Frank	平成26年4月	ドイツ語b-Ⅰ ドイツ語b-Ⅱ						
兼任	講師	François Lienard	平成26年4月	フランス語b-Ⅰ フランス語b-Ⅱ						
兼任	講師	若宮 由美	平成26年4月	こどもと音楽1a こどもと音楽1b こどもと音楽11a ピアノレッスン 音楽の歴史	兼任	講師	小田 もゆる	平成28年4月	こどもと音楽1a こどもと音楽1b	平成28年3月若宮由美兼任講師辞任に伴う担当者の変更(28)
					兼任	講師	甲斐 万里子	平成28年4月	こどもと音楽11a	
					兼任	講師	田崎 直美	平成28年4月	ピアノレッスン	
					兼任	講師	甲斐 万里子	平成28年4月	音楽の歴史	
専任 補充				施設実習Ⅰ	専	助教	伊瀬 玲奈	平成26年4月	施設実習Ⅰ	設置時の留意事項により、平成27年8月AC教員審査を受け承認(28)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
4	3	0	3	10	6	2	0	2	10	6	2	0	2	10
(4)	(3)	(0)	(3)	(10)						[2]	[△1]	[0]	[△1]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
H24.3.31以前就任: 70 H24.4.1以降就任: 65 歳	0	1
	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況		就任辞退（未就任）の理由			
1						該当なし					
2											
合 計（A）						後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人			必修	科目		必修	科目	必修	科目	必修	科目
			選択	科目		選択	科目	選択	科目	選択	科目
			自由	科目		自由	科目	自由	科目	自由	科目
			計	科目		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1						該当なし				
2										
合 計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計（A）+（C）					後任補充状況の集計（B）+（D）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年4月)	・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。	留意事項 ・科目開設時（平成28年度）までに、専任教員を配置する予定である。(26) ・平成27年7月にACで教員審査を受け8月に適格と判定され、科目開設年度（平成28年度）に専任教員を配置した。(28)	・平成27年度中にACで教員審査を受ける予定である。(26) ・平成27年7月にACで教員審査を受け、8月に適格であると判定された。(28)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人文学群 こども発達学類>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学校教育法改正に伴い会議体を再編したため、点検・評価を行ってきた自己点検・企画委員会は発展的解消し、平成27年度より全体協議会が引き継いでいる。（別紙1参照）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

定例会議として月1回開催。平成27年度は9回開催。

全体協議会は、学群長（2名）、学類長（7名）及び教務部長、学生部長、メディアセンター長、広報・入試センター長、国際交流センター長、地域連携センター長、事務局次長（3名）で構成されている。平成27年度は計18名。ほぼ毎回全員出席（99%）。

c 委員会の審議事項等

- ・ 大学運営会議から委任された事項
- ・ 点検・評価及び評価の実施に関する事項
- ・ FDに関する事項
- ・ 進路支援に関する事項
- ・ 広報戦略の運営等に関する事項
- ・ その他学長が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 点検・評価として毎年度の目標策定と結果評価
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 学生生活アンケート
- ・ 教授法、教育に関する研修
- ・ 学群・学類FD研修
- ・ 研究に関する研修
- ・ 新任教職員のための研修
- ・ 地域貢献に関する研修

b 実施方法

- ・ 毎年度当初に目標・計画をたて、年度末に達成度を確認し評価を行う。
- ・ 学生による授業評価アンケート…隔年（26年度実施）、年2回実施。
履修者4名以下の科目を除く全授業科目対象。
- ・ 学生生活アンケート…隔年実施（26年度実施）、在学生対象。
- ・ 教授法、教育に関する研修…教職員を対象に実施。
- ・ 研究に関する研修…教職員を対象に実施。
- ・ 地域貢献に関する研修…教職員を対象に実施。
- ・ 新任教職員のための研修会…26年度より実施。4月着任時。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

※平成27年度実施状況

- ・ 学生による授業評価アンケート…26年度実施結果に基づき、報告書作成。
- ・ 学生生活アンケート…26年度実施結果に基づき、報告書作成。

- ・教授法研修…①基礎ゼミワーキングについて。教員 59 名、職員 6 名参加。
②教授法研修。教員 64 名、職員 5 名参加。
- ・教育に関する研修…①国際協力という選択を可能にする。教員 64 名参加（他職員）。
②授業等で困り感のある学生対応について。教員 68 名、職員 12 名参加。
③キャリアデザインⅡについて。教員 74 名、職員 7 名参加。
- ・地域貢献に関する研修…大学における地域連携事業について。教員 50 名、職員 7 名参加。
- ・学群 F D…人文学群 1 回（教員出席率 72.7%）、家政学群 1 回（教員出席率 84.2%）
- ・学類 F D…国際学類 1 回（教員出席率 42.9%）、日本文学文化学類 1 回（教員出席率 86.7%）
心理学類 3 回（教員出席率 95.2%）、こども発達学類 1 回（教員出席率 60.0%）
服飾造形学類 1 回（教員出席率 70.0%）、健康栄養学類 2 回（教員出席率 87.9%）
家政福祉学類 2 回（教員出席率 100%）
- ・研究に関する研修…①科学研究費について。教員 55 名、職員 7 名参加。
②知的財産権の基礎知識。教員 65 名、職員 6 名参加。
- ・新任教職員のための研修会…初任者対象。教員 5 名、職員 11 名参加。
- ・キャンパスハラスメント研修…教員 70 名、職員 57 名参加。F D・S D 研修として実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・学生生活アンケートを通して、授業、学生生活、教育の満足度、教員・友人、大学の印象等について尋ね、結果を分析し、授業の改善、大学のあり方等を検討する参考としている。
- ・授業評価アンケート結果を分析し、各教員の所感をまとめた報告書を作成、実施翌年度に教職員に配布している。あわせて授業評価の高得点者による F D 研修も行い、授業の改善・向上に役立てている。
- ・教授法研修では、授業方法・工夫等の紹介・意見交換をととして、それぞれの授業の内容・すすめ方・工夫・学生の惹きつけ方など、授業の改善・向上に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・平成 26 年度実施。平成 24 年度から隔年（前期、後期の年 2 回実施）で実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・評価結果を分析、各教員の所感をまとめた報告書を作成し、実施翌年度に学内教職員へ配布している。（27 年度対応済）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

（別紙 2 参照）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成 26 年 3 月 公表

b 公表方法

- ・平成 25 年度に点検・評価報告書を作成し、学内配布及び本学メディアセンターの「学園資料閲覧コーナー」に備付し、学外者の閲覧に供している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成 26 年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受け、適合していると認定された。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 2 8 年 7 月 下旬頃)

○全体協議会規程

第1条 和洋女子大学に、全体協議会（以下「本会」という。）を置く。

第2条 本会は、大学の充実と運営の効率化を図るため、以下の事項について、審議を行うとともに、必要な連絡調整を行うことを目的とする。

- ①大学運営会議から委任された事項
- ②点検・評価及び評価の実施に関する事項
- ③FDに関する事項
- ④進路支援に関する事項
- ⑤広報戦略の運営等に関する事項
- ⑥その他学長が必要と認めた事項

2 全体協議会は、審議した事項について、大学運営会議に報告するとともに、必要に応じて学類会議及び各種委員会に報告しなければならない。学類会議及び各種委員会は、特に必要がある場合には、全体協議会が審議した事項について、改めて審議し、意見を述べることができる。

第3条 本会は、学群長、学類長及び教務部長、学生部長、メディアセンター長、広報・入試センター長、国際交流センター長、地域連携センター長、事務局次長をもって構成する。

第4条 本会が必要と認めたときは、前条の規定に関わらず、その他の教職員の出席を求め、意見を聞くことができる。

第5条 本会は、毎月1回の開催を定例とする。ほかに、学群長が必要と認めたとき、又は構成員の2分の1以上の要求があったときは、学群長相互了解のもと招集する。

第6条 本会の議長は、学群長のうちから本会において互選する。

2 学群長に支障があるときは、学群長があらかじめ指名する者がこれを代行する。

第7条 本会は、必要に応じて部会を置くことができる。

2 部会の組織・運営については、別に定める。

第8条 本会の庶務は、学事課が当たる。

第9条 この規程に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、協議のうえ定めることができる。

第10条 この規程の改廃は、大学運営会議の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成10年3月17日から制定施行する。

附 則

この規程は、平成14年4月1日から改正施行する。

2 大学協議会規程（昭和48年7月7日制定）は、廃止する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から改正施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から改正施行する。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から改正施行する。

附 則

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から改正施行する。

附 則

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から改正施行する。

【こども発達学類】設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. こども発達学類として

平成27年度は人文学群こども発達学類として開講し2年目を迎えた。幼稚園教諭・保育士の養成課程を明確にできたことで、志願者に対しても課程の趣旨を明示的に示すことができるようになった。地域との連携もさらに深まり、キャリア教育の一環として県内の私学等関係諸団体が来校し、幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の就職説明会を学内で開催した。

2. こども発達学類の特色

設置の理念として掲げているように、本学では①教育実践力の育成、②演習を軸として継続的できめ細やかな指導③地域連携を視野に入れた子供の発達・教育の支援に貢献できる実践力の育成を目指している。開設2年目は特に以下の点に取り組んできた。

① 教育実践力の育成

様々な学びの機会を活用し、体験を通して学ぶことを重視した。引き続き学内競争的資金（教育振興支援費）を獲得して、子育ての支援にボランティアとして参加、さらには学生自身の感性を豊かにするような体験の場を設けた。また、幼児期の保育・教育をめぐる今日的課題に対応できるよう授業等において地域の幼稚園・保育所・認定こども園等での観察や実践の機会を設けた。学内外で様々な人や物との出会いの場を設定し、かかわりながら学びを積み重ねる教育体制を整えた。

② 教員間の連携を活かした主体的な学びを促す指導

担任制度やアドバイザー（少人数で担当教員と相談できる制度）の利点を活かし、きめ細やかな指導を心がけている。一方で、教員間の連携を常に図り、個々の学生の課題や状況を把握しつつ対応を心かけた。教員養成課程である本学類は、学びの幅が広く、学生自身が自覚的に学ばないと見通しを持ちにくい場合がある。学生達には科目間の連携の中で総合的に幼児教育・保育を理解していけるよう指導をしているが、その意図が浸透しているとはいいがたい部分もある。今後も「自ら問う」ことを大切に、「人（教職員や友人等）」、「もの（メディアセンター等の設備や教材）」の環境を充実させて指導にあたりたい。

③ 地域連携を大切に、子どもの発達・教育の支援に貢献できる実践力の育成

乳幼児期の心身の発達は周囲の大人や社会とのかかわりを通して助長されることを踏まえ、地域の幼稚園・保育所・子育て支援関連施設等との協働のもとで交流や研修をおこなっていく。昨年度は学生自身の発案で作詞・作曲・振り付けをおこなったリズム遊びをSNSで披露する等、地域のニーズに応える活動を行った。今後も乳幼児期の教育の担い手としての力量を育てていく。

以上の点から、一昨年度開講した「こども発達学類」は、志願者や地域の認知を深めることができ始めている。その強みを活かし、教員間の連携を更に深め相互に協力しあいながら日々の学生指導にあたりたいと考えている。既に検討が始まっている「幼稚園教育要領」改定の動き等、時代のニーズに応えつつ、教員は教育と同時に研究者としても個々の研究の充実を図っていく所存である。